

令和6年中の主たる生計維持者の収入見込額申出書

令和6年中に見込まれる主たる生計維持者の収入額を記入してください。
 少なくともいずれかの収入の減少割合が30%以上でないとは減免の対象となりません。

「主たる生計維持者」の氏名を記入

住所 上越市 木田1丁目1番3号

氏名 上越 太郎

- ① 主たる生計維持者の収入減少理由（該当するものに☑を入れてください）
- 事業収入等の減少が見込まれる → ②へ
- 事業の廃止や失業(会社都合など非自発的失業を除く)の場合 → ④へ
- 該当する収入減少理由に☑を入れてください

② 主たる生計維持者の収入実績と見込額（太枠内を記入してください）

令和5年		令和6年			減少割合 (a-(b-c))/a
項目	収入額(a)	項目	収入見込額(b)	うち保険金等による補填額(c)	
事業収入	3,000,000 円	事業収入	0 円		100%
不動産収入	1,000,000 円	不動産収入	1,000,000 円		0%
山林収入		山林収入			
給与収入		給与収入			

※「事業収入等」とは、事業では仕入れや必要経費を差し引く前の売上額、「給与収入」は源泉徴収税額を差し引く前

○ 令和6年能登半島地震の影響により支給される各種給付金は、事業収入額や補填額に含めません。

(いずれかの減収率が30%未満) → 減免対象外
 (いずれかの減収率が30%以上) → ③へ

③ 主たる生計維持者の減収割合が30%以上となる収入の月別内訳（太枠内を記入してください）

令和5年(実績)		令和6年(実績/見込)		減収見込額の算出根拠(以下に記入)
月	収入額	月	収入見込額	
1月	0 円	1月	0 円	減収見込額の算出根拠(以下に記入)
2月	0 円	2月	0 円	
3月	0 円	3月	0 円	
4月	0 円	4月	0 円	
5月	0 円	5月	0 円	
6月	1,000,000 円	6月	0 円	
7月	1,000,000 円	7月	0 円	
8月	1,000,000 円	8月	0 円	
9月	0 円	9月	0 円	
10月	0 円	10月	0 円	
11月	0 円	11月	0 円	
12月	0 円	12月	0 円	
合計	3,000,000 円	合計	0 円	

浜茶屋を営んでいるが、地震による津波の影響で施設が全壊となり、今夏の営業ができないことから全額減収となる見込

算出根拠を詳しく記入ください。

※算出根拠(例)
 ・今年の収入実績の平均額から見込額を算出
 ・前年の同月実績に比べ5割程度減収すると見込

④ 主たる生計維持者及び同一世帯の国保加入者の令和5年中の所得について（主たる生計維持者の所得項目ごとに記入してください）

※ 主たる生計維持者の減収した事業収入に係る所得金額が「0円以下」の場合 → 減免対象外

氏名	生年月日	令和5年合計所得金額
世帯主 上越太郎	昭和〇年〇月〇日	1,158,000 円
国保加入者 上越花子	昭和〇年〇月〇日	0 円
国保加入者 上越次郎	平成〇年〇月〇日	0 円
世帯主以外		
世帯合計所得額		1,158,000 円

うち、主たる生計維持者の所得内訳	
項目	所得額
事業所得	658,000 円
不動産所得	500,000 円
所得合計	1,158,000 円

この2つの額は同額。

※ 添付が必要な書類については、裏面を確認

⑤ 添付が必要な書類 (該当するものに☑を入れ、添付してください)

添付が必要な書類に☑し、添付してください。

収入減少理由が

(事業・不動産・山林収入の場合)

令和5年中の収入額・所得額がわかるもの

(白色申告は「令和5年分所得税確定申告書、収支内訳書」の写し、青色申告は「青色申告決算書」の写し)

令和6年中の収入実績がわかるもの(帳簿類や通帳の写し等)

(給与収入の場合)

令和5年分の収入額がわかるもの(「令和5年分給与所得の源泉徴収票等」の写し)

令和6年中の収入実績額がわかるもの(令和6年1月～直近までの給与明細等の写し(賞与を含む))

(廃業の場合) 廃業届の写し等(廃業状況がわかる書類)

(令和6年1月2日以降の転入者の場合) 令和5年分確定申告書の写し、所得のわかる書類等の写し等

(保険金、損害賠償等により補填されるべき金額がある場合) 上記のほか、その補填されるべき金額を証明するもの(保険契約書の写し等)